

**事業所名** グループホーム勝央  
(クリックすると事業者の情報にリンクします)

日付 平成21年 3月31日

**評価機関名** ㈱東京リーガルマインド  
(クリックすると評価機関の情報にリンクします)

**評価調査員**  
A:現職 理学療法士  
資格・経験 障害児施設勤務20年、理学療法士、介護支援専門員、がイヘルパ-講師  
B:現職 介護保険施設勤務  
資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー

**自主評価結果を見る** (事業者の自主評価結果にリンクします)

**評価項目の内容を見る** (評価項目にリンクします)

**事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)**  
(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	<p><b>グループホームとしてめざしているものは何か(記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「その人らしく幸せに暮らせるように」という理念を掲げ、入居者一人ひとりの個性を大切にしながら生活にリズムを取り入れ、メリハリのある暮らしの提供をめざしている。温かみのある家庭的なホームで、入居者の思いに添った支援を継続して提供していくことを目標としている。</li> <li>・管理者は、職員も入居者の家族の一員として捉え、職員のチームワークを大切にしながら入居者それぞれのペースを大切にしながら暮らしの支援に努めている。また、職員は、「自分の親を住まわせたい」、「いずれは自分もここに生きて暮らしたい」と思えるホームを理想とし、より良い介護の提供に日々取り組んでいる。</li> <li>・地域との交流を図り、近隣の方々との良好な関係の中で、入居者が穏やかに暮らせるように支援している。</li> </ul>		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	<p><b>入居者が暮らしている生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者一人ひとりの思いを大切に、残存機能を活かしながら、その人らしく自由に暮らせるように支援している。また、入居者がしたいと思うことをしてもらい、居たい場所できつろぎ、気兼ねなく暮らしてもらえるように心がけている。</li> <li>・買い物や外食等、入居者の希望に合わせて外出の機会を設け、気分転換を図っている。また、中山間地の恵まれた自然環境の中、散歩や菜園での作業を楽しみ、ストレスなく穏やかに暮らせるように支援している。</li> <li>・職員は、大きな声を出したり慌てたりせず、常に優しく穏やかな対応を心がけている。また、入居者が不安な気持ちになることがないように、職員一人ひとりが自分の自動に注意している。</li> </ul>		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

外部評価の結果

**講評**

全体を通して特に良いと思われる点など(記述)

- ・津山市と国道429号線でつながり、東北の静かな田舎地帯にホームはある。黒豆の産地として有名な土地で、那岐山を借景に四季折々の景色が美しい場所である。ホームは、和風の平屋建ての建物で、玄関には、大きな木板に『仲よしグループホーム』と書かれている。道沿いの花壇には、色とりどりの小花が植えられ、広い庭の菜園では大根や白菜が育っている。入居者は、恵まれた自然の中で、近隣の方々とも触れ合いながら、穏やかな日々を過ごしている。
- ・居間と裏庭の間にはウッドデッキが付いており、片隅には大きな漬物樽が置かれている。お米は、隣の農家で分けてもらい、青空市や農協で地元の新鮮な野菜を購入し、菜園で採れた野菜も利用して献立を決めており、漬物や佃煮は皆で作っている。入居者にとって「第二の我が家」となるホームで、入居者一人ひとりの経験や記憶に働きかけ、持てる力を活かして暮らせるようにとの職員の温かい思いがある。
- ・医療法人がホームを運営しており、主治医の往診を受けながら入居者の健康な暮らしを支えている。3人の看護師職員を配置し、入居者の健康管理の強化が図られている。また、津山市の総合病院とも提携し、受診や入院、緊急時にも対応してもらえ、入居者・家族は充実した医療体制により安心が得られる。
- ・ホームでは、夏祭りや文化祭などの地域の行事に参加したり、小学校の運動会の招待を受けたりしている。ホーム主催のお涼み会や敬老会などには地域の方々を訪れており、地域と積極的に交流を図り、良好な関係を築いている。

特に改善の余地があると思われる点(記述)

- ・特に改善の余地があると思われる点はない。

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の安診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	<p><b>一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者の経験や記憶を思い起こしてもらえるように働きかけ、日々の活動や行事、生活場面で活かせるように支援している。菜園作業では、職員の問いかけに「こうやって植えよったんじゃ」と入居者の明るい声が返ってきている。</li> <li>・献立は、入居者の希望を聞き、相談しながら決めており、菜園から食べごろの野菜を採ってきてもらうこともある。外出や入浴も、入居者の意思を尊重して支援している。何事も、職員の押し付けではなく、入居者の意思を大切に支援心がけている。</li> <li>・面接簿は設けず、面会票に一人ずつ記入してもらい、事務室で保管している。また、重要書類はすべて事務室で管理し、不要なものはシュレッダーで処分している。</li> </ul>		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	<p><b>サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述)</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月、全職員参加でミーティングを行い、入居者の現状を把握し、共通認識を深めている。また、ベッドの高さ一つについても、リスク面や介護負担等の点から活発に意見を出し合い、環境整備や業務の見直し、記録についての工夫を検討する等、サービスの質の向上に向けて意欲的に取り組んでいる。</li> <li>・管理者は、入居者と家族のパイプ役として尽力している。来訪時はもちろん、入居者にちょっとした変化が見られた時なども家族に連絡し、入居者のホームでの状況を丁寧に伝えている。遠方からの訪問も多く、最近は家族からの連絡も増えており、家族の方も入居者のありのままを理解している。</li> <li>・事故発生マニュアル、緊急時対応マニュアルなどの各種マニュアルを整備し、事務室には連絡網を貼って緊急時に備えている。また、毎年、春と秋に防災訓練を行い、秋の訓練は消防署の立会いの下で実施している。運営推進会議でも、地域の方に協力をお願いしている。</li> <li>・職員は美作保健センターや広域りハビリ協議会での研修、消防署やコミュニティで行われる勉強会等に積極的に参加している。今後は、各種報告書を含め、内部での伝達が充実するように検討している。</li> </ul>		